

# JIS

## 道路用鉄鋼スラグ

JIS A 5015 : 2013

(NSA)

平成 25 年 3 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河野 広 隆	京都大学
(委員)	阿部 道 彦	一般社団法人日本建築学会 (工学院大学)
	綾野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石坂 弘 司	東京都建設局
	宇治 公 隆	公益社団法人土木学会 (首都大学東京)
	木幡 行 宏	室蘭工業大学
	小林 延 房	社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	清水 和 久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴木 一 雄	全国生コンクリート工業組合連合会
	須田 久美子	鹿島建設株式会社
	西田 礼二郎	社団法人セメント協会
	長谷川 直 司	独立行政法人建築研究所
	真野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	利藤 房 男	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡辺 博 志	独立行政法人土木研究所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.11.1 改正：平成 25.3.21

官 報 公 示：平成 25.3.21

原 案 作 成 者：鉄鋼スラグ協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-5643-6016)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 河野 広隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び呼び名	3
5 品質	4
5.1 一般事項	4
5.2 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ，粒度調整鉄鋼スラグ及びクラッシュラン鉄鋼スラグの物理的・ 化学的性質及び粒度	4
5.3 単粒度製鋼スラグの物理的・化学的性質及び粒度	5
5.4 クラッシュラン製鋼スラグの物理的・化学的性質及び粒度	6
5.5 道路用鉄鋼スラグの環境安全品質基準	6
6 エージング	6
6.1 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ，粒度調整鉄鋼スラグ及びクラッシュラン鉄鋼スラグに用いる 製鋼スラグ	6
6.2 単粒度製鋼スラグ及びクラッシュラン製鋼スラグに用いる製鋼スラグ	7
7 試験方法	7
7.1 試料の採取	7
7.2 呈色判定試験	7
7.3 水浸膨張試験	7
7.4 単位容積質量試験	7
7.5 一軸圧縮試験	7
7.6 表乾密度及び吸水率試験	7
7.7 すりへり試験	7
7.8 粒度試験	7
7.9 環境安全品質試験	7
8 検査	7
8.1 検査項目	7
8.2 検査方法	8
8.3 製造ロットの管理	9
8.4 検査ロットの大きさ	9
8.5 検査の頻度	9
8.6 検査データなどの保管	10
9 表示	10
10 報告	10

	ページ
附属書 A (規定) 道路用鉄鋼スラグの呈色判定試験方法 .....	19
附属書 B (規定) 道路用鉄鋼スラグの水浸膨張試験方法 .....	20
附属書 C (規定) 道路用鉄鋼スラグの一軸圧縮試験方法 .....	24
附属書 D (規定) 道路用鉄鋼スラグの環境安全品質試験方法 .....	27
附属書 E (参考) 加熱アスファルト混合物成形体及びれき (瀝) 青安定処理成形体の作製方法 .....	31
附属書 F (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表 .....	33
解 説 .....	36

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、鉄鋼スラグ協会（NSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 5015:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

# 道路用鉄鋼スラグ

## Iron and steel slag for road construction

### 序文

この規格は、鉄鋼製造過程で生成する鉄鋼スラグを道路の路盤及び加熱アスファルト混合物として用いるために必要な品質などについて規定したものである。この規格は、1979年に制定され、その後2回の改正及び1回の追補による改正を経て今日に至っている。前回の追補による改正は2008年に行われたが、その後、日本工業標準調査会の土木技術専門委員会及び建築技術専門委員会によって、“建設分野の規格への環境側面の導入に関する指針”（2003年3月28日土木技術専門委員会・建築技術専門委員会議決）の**附属書2**として“道路用スラグに環境安全品質及びその検査方法を導入するための指針”が2011年7月12日付で策定されたことから、これに対応するために改正した。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書F**に記載する。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

### 1 適用範囲

この規格は、道路の路盤及び加熱アスファルト混合物に使用する鉄鋼スラグ（以下、道路用鉄鋼スラグという。）について規定する。

**注記1** 鉄鋼スラグには、せん鉄製造過程で生成する高炉スラグと、鋼の製造過程で生成する製鋼スラグとがある。高炉スラグは、冷却方法の違いによって、高炉徐冷スラグと高炉水砕スラグとに分けられる。製鋼スラグは、鋼の製造方法の違いによって、転炉系スラグと電気炉系スラグとに分けられる。

**注記2** 道路用鉄鋼スラグには、高炉スラグ及び製鋼スラグを素材とし、これらの素材を単独又は組み合わせて路盤材として製造したもの、並びに製鋼スラグを素材とし、加熱アスファルト混合物及びれき（瀝）青安定処理（加熱混合）に用いる骨材として製造したものがある。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS A 1102** 骨材のふるい分け試験方法

**JIS A 1103** 骨材の微粒分量試験方法

**JIS A 1104** 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法

**JIS A 1110** 粗骨材の密度及び吸水率試験方法

**JIS A 1121** ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法

**JIS A 1203** 土の含水比試験方法